

令和4年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 東京都立八王子拓真高等学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）
- (2) 事務局の構成 教務部主任（＝事務局長）、教務部員 計2名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長（2）、経営企画室長、教務部主任、教務部副主任、生活指導部主任、進路指導部主任、保健相談部主任 計9名
- (4) 協議委員の構成
近隣中学校長、近隣特別支援学校長、近隣自治会役員（2）、公共施設代表（2）、大学教授（2）
八王子商工会 八王子青年会議所 若者サポートステーション 計11名

2 令和4年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会

第1回 令和4年6月8日（火）15:00～16:45（出席者15名 欠席者5名）

- ・令和3年度学校経営計ならびに令和4年度学校経営計画について
- ・令和4年度教育活動報告について（各分掌の取組目標と目標実現に向けた具体策）
- ・令和3年度卒業生進路一覧について
- ・進路指導部からインターンシップの取組について
- ・配付資料 令和4年度学校経営計画、各分掌の取組目標等

第2回 令和4年11月22日（火）15:00～16:45（出席者14名 欠席者6名）

- ・令和4年度教育活動報告について（年次・分掌の取組と進捗状況）
- ・令和4年度卒業予定者就職先一覧について
- ・第1回授業評価アンケート集計結果と教科分析について
- ・令和4年度「学校評価アンケート」案について
- ・配付資料 「拓真だより」「生徒会新聞」「令和5年度学校案内」インターンシップ引受先一覧等

第3回 令和5年1月31日（火）15:00～16:45（出席者名15名 欠席者5名）

- ・令和4年度教育活動報告について（年次・分掌の最終報告 成果と課題）
- ・第2回授業評価アンケート集計結果と教科分析について
- ・学校評価アンケートの集計結果報告
- ・令和4年度卒業予定者進路・就職先一覧
- ・配付資料 「学校評価アンケート集計結果」 インターンシップ報告書等

(2) 評価委員会の開催日時

第1回評価委員会（6月8日） 学校評価アンケート項目の検討

第2回評価委員会（11月22日）学校評価アンケート項目の検討、確認

第3回評価委員会（1月31日） 学校評価アンケート回収による分析

3 学校運営連絡協議会による学校評価

(1) アンケートの実施内容

①実施時期 令和4年11月7日（月）から11月18日（金）

②実施方法 マークシート調査票による調査

③配布及び回収

生徒アンケート LHRで配布・回収。必要に応じて長期欠席者には郵送で回収

保護者アンケート 三者面談にて配布し、その場で記入または、後日回収。

面談欠席者には、生徒を通して配布・回収

地域アンケート 東雲町会長、台町三丁目町会長、台町四丁目町会長に依頼し、役員に配布
同封の返信用封筒にて郵送で回収

教員アンケート 直接配布し、回収

(2) アンケート調査の対象別回収率（保護者の回収率は向上した）

- ・生徒 949人 回答 629人（回収率 66.3%・昨年度 69.5%）
- ・保護者 949人 回収 446人（回収率 47.0%・昨年度 40.9%）
- ・教員 75人 回収 75人（回収率 100.0%・昨年度同じ）
- ・地域 45人 回収 19人（回収率 42.2%・昨年度 50.0%）

(3) 主な評価項目

学習指導、地域探究、生活指導、進路指導、特別活動、学校行事、施設・設備、保健相談、いじめ・体罰の防止等に関する内容で、生徒・教員は13項目、保護者は12項目、地域は8項目としている。

(4) 評価結果の概要

- ・「本校では、学校外の方による講演を聞いたり、将来について学んだりする機会がありますか？」の項目で、「そう思う」と肯定的にとらえている生徒が43.1から52.6%に向上している。
- ・「本校では、外部機関や教員以外の方と連携した授業や行事に取り組んでいると思いますか？」の項目で、「そう思う」と肯定的にとらえている教員が40.3から50.7%に向上している。
- ・「あなたは、生徒会活動や委員会活動は活発に行われていると思いますか？」の項目で肯定的回答が37.1から54.0%に向上している。

(5) 評価結果の分析・考察（課題と提言）

- ・学校外の方の講演や外部機関との連携で向上しているのは、本校が地元就職を掲げ、地域企業と連携して講演会や進路実現に向けた取組を行っている成果と考えられる。これで満足するのではなく継続をして取り組むことが大切である。
- ・キャリア教育の充実をさらに図っていくために、進路指導部を中心に各教科、年次で協力をして改善をしていくように努める。地元就職を掲げ、学校全体で取り組んでいくために、授業規律、遅刻の減少、身だしなみ指導等を丁寧に行い、就職に対する意識を高めていくようにする。
- ・家庭学習時間を増やすために、個人が努力をしたいと思わせる仕掛けや工夫を考えていく必要がある。

① 学習指導

本校の教育理念の1つに「一人一人の能力に応じたきめ細かな指導により、基礎的・基本的な学力を身に付けた生徒の育成」とある。また、教育目標に「学ぶ」を掲げ、「学習歴に応じて基礎学力や社会性・規範意識を身に付け、自分の適性や将来の進路についても理解を深める」としている。こうした目標を達成するために、基礎学力の定着とともに計画的に補習指導や個別指導を充実させ一人一人の能力の伸ばせるように学校全体で取り組んでいく。

② 生活指導

「挨拶、礼儀、遅刻防止等の就労に向けた社会性の育成を狙いとした生活指導の充実」「1, 2年時に特化した遅刻指導の充実」が具体的な指針として挙げられる。次年度に向けて、全教員で協力をして、時間を守る意識を高めさせ、社会性の育成につなげる取り組みをしていく。

③ 進路指導（キャリア教育）

2年次でのインターンシップにより地元就職への系統的なキャリアガイダンスの構築を図り、取

り組んでいく。そのために、学校運営連絡協議会の委員に様々なアドバイスを受けながら進路指導を進めていく。次年度以降も、地元に関係した青年会議所、商工会議所、職業能力開発センター、Y S W等との連携をさらに高め、生徒への情報提供を高めていき、社会的に自立できる生徒の育成を目指していく。

④ 教育相談

教育相談活動は、チャレンジクラスを有する本校の大きな特色の一つである。中途退学未然防止、不登校生徒の減少という観点からS C、Y S Wを複数配置し、「生徒の居場所」を意識して進めている。今後も保健相談部、Y S W等と連携を進め、生徒が相談しやすい環境を整えていくとともに、子供家庭支援センターや児童相談所等の外部機関とも連絡をとり、生徒が安心して生活ができる環境を整えていく。

⑤ 特別活動等

今年度は、新型コロナウイルス感染症のため制限された中での部活動、スポーツ大会、文化祭等の実施となった。ただ以前に比べ、生徒会活動が活性化し、生徒が行事を提案する雰囲気が出てきている。学校の方針として部活動の充実を掲げているので、部活動の加入率を向上させる取り組みを実践していく。また項目8の生徒会活動や委員会活動をさらに活発化し、生徒が充実した生活を送ることができるように進める。

⑥ ライフ・ワークバランスの推進について

分掌・年次の役割分担の中で、特定の教員に負担がかからないように、分掌主任が中心に役割を割り振り調整する。また勤務超過にならないように遅くまで勤務している教員には、お互いに声を掛け合い負担にならないようにチームとしての協力体制を整える。

委員の方々からは、「地元就職に向けた先生方の熱意が伝わってくる取組が伝わってくる」「地域の学校の視点を持っていることがよい」など前向きなご意見をいただいている。課題としては、地域と連携した防災への取組が課題に挙げられる。来年度は、地域に根ざした学校として、地元就職、地域との連携を大切にして学校運営を進めていきたい。